

健康づくり推進優良事業所 取組発表



価値あるものを未来へ

SUZUNAKA

総合建設業 鈴木工業株式会社

会社概要

- 創業年月：1910年10月
- 設立年月：1921年6月
- 主事業所：蒲郡本店（蒲郡市元町）
名古屋本社（名古屋市中区）
浜松支店（浜松市南区）
東京支店（東京都品川区）
- 従業員数：193名（2020年8月1日現在）
- 主要業務：総合建設業

110th Anniversary



総合建設業の業務内容

国及び県等の地方公共団体が発注する公共建設事業、民間会社の発注する各種の土木・建築工事を元請業者として一式で直接請負い、工事全体のとりまとめ役として、工程・安全・品質・原価等の施工管理を行う。



健康に関する課題

社員の7割が工事施工管理職であり、建設業への入職者不足により、定年者の継続雇用が常態化し社員の高齢化が進んでいる現状がある。

併せて建設業という職場環境は、労働災害に直結している。特に夏は様々な熱中症対策を行い、他の労災対策苦も含め発生ゼロを目指している。



取組み

- 全職員健康診断実施。35歳以上
- 全ての事業場でのストレスチェック（50人未満も）
- 全社員研修での健康についての研修
（外部講師にて出前講座実施）
- 毎月支店会議にて安全衛生会議開催
- 適切な働き方
（年次有給休暇取得の促進、労働時間管理アプリ導入）
- コミュニケーション促進
（社員旅行・同好会・家族レクリエーション開催）
- 感染症予防
（マスク・除菌スプレーの常備、WEB会議の活用）
- 食生活改善、熱中症予防
（自販機の特保健康飲料の導入、塩飴、空調服配布）

効果

- ノー残業デー実施、労働時間の見える化により、労働時間の削減の気運が醸成された。
- 有給休暇取得率の向上が見られた。
- 各取り組みにより、仕事だけでなく、家庭・プライベートの相談をできる環境を整え、部署間を超えて良いアドバイスを受けることが出来た。(社員意見)



今後の課題

- 社員同士のみならず、経営者、役員ともコミュニケーションが出来る機会を設け、全社で相談ができる職場を目指す。
- ノー残業デーの徹底など、労働時間削減への社内の啓発活動を活発化し、特に、有給休暇取得率については50%以上を目標を達成する。

